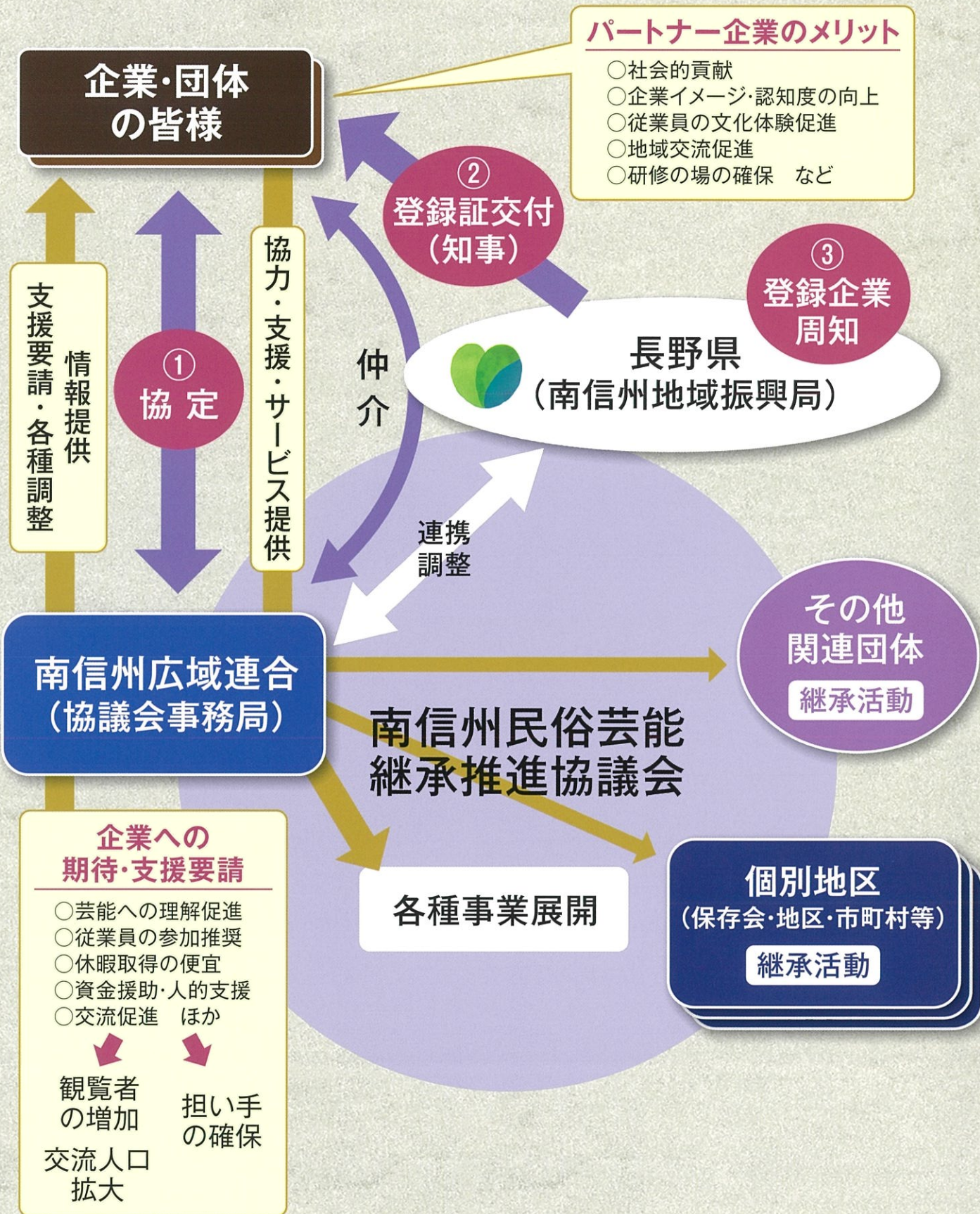


# 南信州民俗芸能パートナー企業制度



南信州の民俗芸能を  
企業・団体の皆様とともに  
未来へつなぐ

## 南信州民俗芸能 パートナー企業制度 ご案内

# 南信州は民俗芸能の宝庫

民俗芸能は当地域が未来に活かすべき“貴重な資産”です

南信州(飯田・下伊那地域)は、豊かでありながら時には厳しい自然環境のもと、神楽や盆踊り、人形芝居や農村歌舞伎、獅子舞などの多様な民俗芸能が独自の文化として各地で生まれ、先人から脈々と受け継がれてきました。貴重な民俗芸能が今も多く点在するが故に、「民俗芸能の宝庫」と呼ばれています。

多様な風土と生活文化の上に息づき継承されてきたこれらの民俗芸能は、わが国の農山村文化の原点ともいえ、南信州の“誇り”として将来にわたって、守り、活かすべき貴重な資産であると同時に、コミュニティの存続のための重要な役割も担っています。

ところが、社会意識や生活環境の変化、少子高齢・人口減少社会の到来により、地域に根ざす民俗芸能も後継者の減少や不在から、存続の危機にさらされており、後継者の育成と未来への継承のために地域を挙げた取組みを強力に推進する必要があります。

このような背景から、南信州の民俗芸能の継承団体、市町村、広域連合、県が手を取り合い、去る平成27年7月1日、「南信州民俗芸能継承推進協議会」を設立し、後継者の育成と未来への継承のために地域を挙げた取組みが始まったところです。

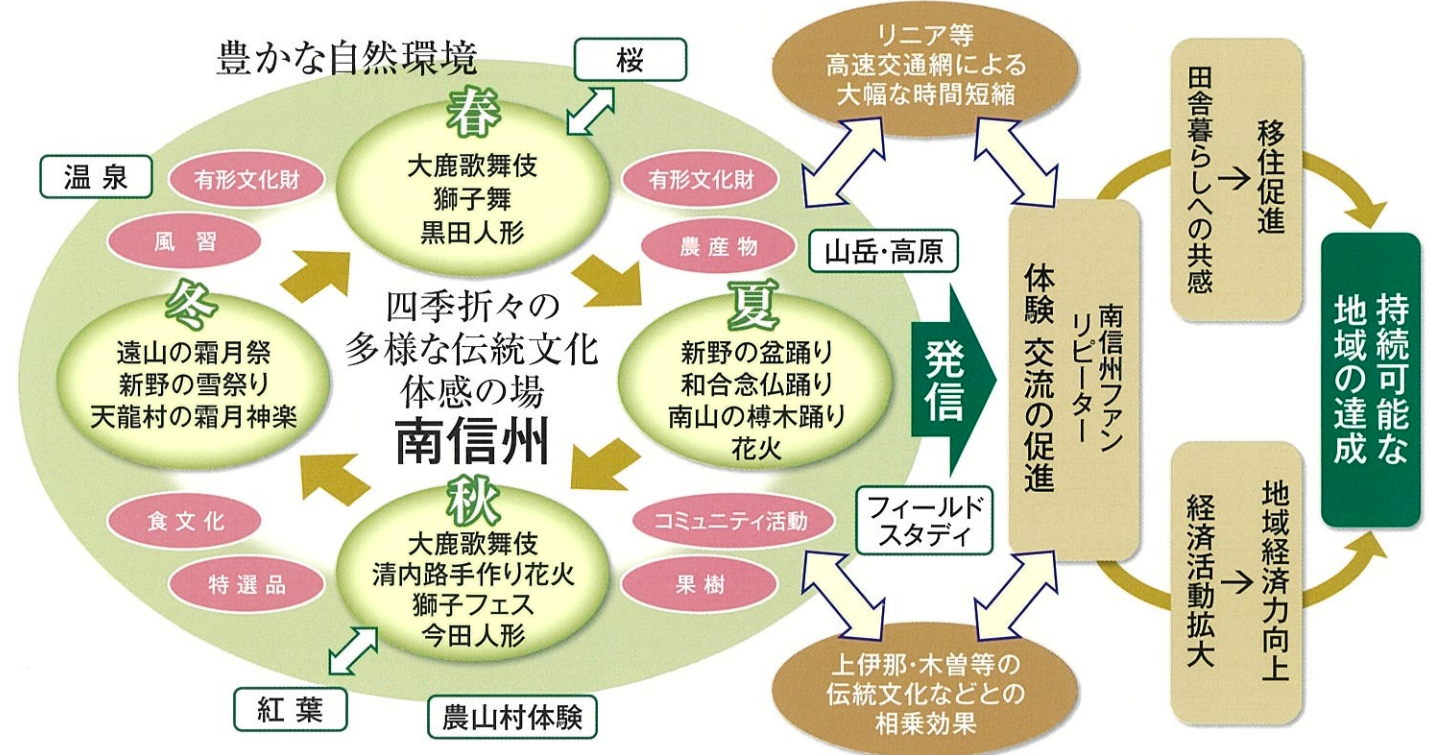
長野県では、これらの活動の基盤をさらに強固なものとするべく、企業の皆様に社会貢献の一環としてご支援いただく制度を南信州をモデル地区として導入し、企業、住民、行政などのパートナーシップにより、新しい形での民俗芸能の継承を推進したいと考えています。

三遠南信自動車道やリニア中央新幹線の開通をも見据える中で、“貴重な資産”を守り、地域の“誇りと活力”が受け継がれて初めて、南信州の未来が拓けるものと確信します。

貴社・団体等のご支援を心よりご期待申し上げます。



## 民俗芸能を活かした 未来の南信州(地域づくりのイメージ)



### 求められるもの ▶ 南信州一丸による民俗芸能の継承

**実際に支援を受けている団体は僅か**  
 平成27年8月下伊那地方事務所調査結果から  
 (調査対象:民俗芸能実施24団体)

天龍村の霜月神楽(国重要無形民俗文化財)